

PDF セキュリティ / ビューアプレファレンス

1. PDF セキュリティ	2
1-1. 概要.....	2
1-2. PDF セキュリティ設定方法.....	2
1-2-1. Style ファイルでの設定	2
1-2-2. QDF ファイルでの設定	3
1-2-3. 実行オプションでの設定	5
1-3. セキュリティエディタリファレンス.....	6
1-3-1. パスワードの指定	6
1-3-2. 暗号化レベル	6
2. ビューアプレファレンス	8
2-1. 概要.....	8
2-2. メニューバーを非表示にする.....	8
2-3. ツールバーを非表示にする.....	9
2-4. ウィンドウコントロールを非表示にする.....	9
2-5. ページにウィンドウサイズを合わせる.....	10
2-6. ウィンドウを画面中央に表示する.....	10
2-7. ページの表示順序を右から左に切り替える.....	10
2-8. 複数のビューアプレファレンスを併用する.....	10

1. PDF セキュリティ

1-1. 概要

FormCast ランタイム、FormCollect ランタイムでは、作成する PDF ファイルにセキュリティを付加することができます。PDF セキュリティの付加によって、ファイルの印刷や編集といった操作を制限することができます。Design マネージャのジョブの編集から行える PDF セキュリティの設定値については、Adobe Acrobat のセキュリティ設定に準拠しています。

なお、PDF セキュリティの付加された PDF ファイルを開くと、Adobe Acrobat、Adobe Reader 上で、使用できない機能のツールやメニュー項目は淡色表示となります。この PDF セキュリティ機能を使用することで、作成した PDF 帳票ファイルを対象ユーザだけに開くことを許可したり、閲覧・表示目的に限って運用することが可能となります。

Create!Form での PDF セキュリティの暗号化レベルは、40-bit RC4、128-bit RC4 の 2 種類をサポートしています。128-bit RC4 の PDF セキュリティを設定した PDF ファイルの閲覧には、Adobe Acrobat 5.0 以上、Adobe Reader 5.0 以上が必要となります。

1-2. PDF セキュリティ設定方法

PDF ファイルへ PDF セキュリティを付加する方法として、以下の 3 つの方法があります。

- ・ Style ファイルでの設定
- ・ QDF ファイルでの設定
- ・ 実行オプションでの設定

<< 注意 >>

「Style ファイル」「QDF ファイル」「実行オプション」による PDF セキュリティの設定を複数同時に使用した場合は、設定方法の優先順位によってどの PDF セキュリティ情報が使用されるかが決まります。

設定方法の優先順位

(高) 実行オプション > QDF ファイル > Style ファイル (低)

以下にそれぞれの設定方法について説明します。

1-2-1. Style ファイルでの設定

Design マネージャのジョブの編集からセキュリティエディタを起動して、ジョブファイルへ PDF セキュリティ情報を設定する方法です。

PDF セキュリティ情報の設定されたジョブファイルを使用してランタイムを実行することで、PDF セキュリティの付加された PDF ファイルの作成が行えます。

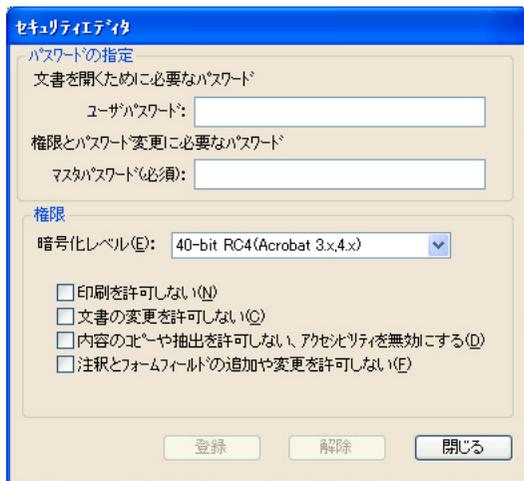
この方法は主に、帳票単位で PDF セキュリティを付加する場合に使用します。

Style ファイルでの設定を行う場合は以下の手順で行います。

1. Design マネージャを起動します。
2. ジョブリストから PDF セキュリティ情報を設定するジョブファイルをダブルクリックしてジョブの編集画面を表示します。

3. [PDF セキュリティ] 項目の [設定] ボタンをクリックして、セキュリティエディタ画面を表示します。

図：セキュリティエディタ画面



4. セキュリティエディタ画面から PDF セキュリティ情報の設定を行います。
5. ジョブの編集画面で [OK] ボタンをクリックしてジョブファイルを更新します。
6. PDF セキュリティ情報の設定されたジョブファイルでランタイムを実行します。

PDF セキュリティの設定を行う場合は、必ず [マスタパスワード] の設定が必要となります。PDF セキュリティの付加された PDF ファイルは、この [マスタパスワード] によって、PDF セキュリティの解除や権限の変更を行うことができます。また、[ユーザパスワード] の設定では、PDF ファイル閲覧の際に [ユーザパスワード] の入力を要求することができます。なお、このとき [ユーザパスワード] ではなく、[マスタパスワード] を入力しても PDF ファイルを閲覧することが可能です。

1-2-2. QDF ファイルでの設定

QDF エディタからセキュリティエディタを起動して、PDF セキュリティ情報が記述されたセキュリティ設定ファイル (SEC ファイル) を QDF ファイルに指定する方法です。この QDF ファイルを使用してランタイムを実行することで、PDF セキュリティの付加された PDF ファイルの作成が行えます。

この方法は主に、ランタイム実行環境単位で PDF セキュリティを付加する場合に使用します。

QDF ファイルでの設定を行う場合は以下の手順で行います。

1. Design マネージャを起動します。
2. ツールボタン [QDF エディタ] をクリックして QDF エディタを起動します。
3. PDF セキュリティ情報を設定する既存の QDF ファイルを開くか、QDF ファイルの新規作成を行います。
4. [SEC] 項目の [参照] ボタンをクリックして、セキュリティファイル選択画面を表示します。

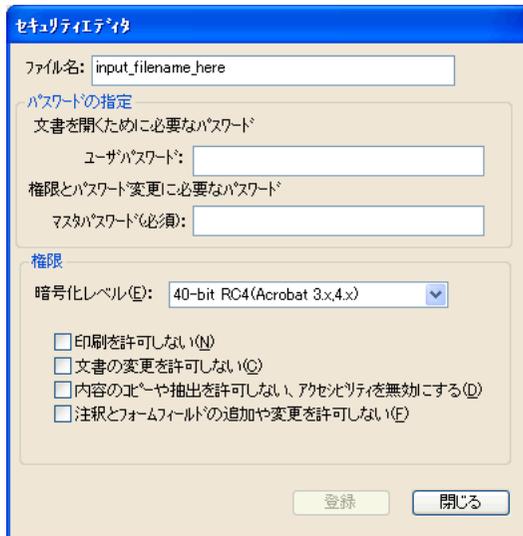
図：セキュリティファイル選択画面



5. [新規 / 変更] ボタンをクリックしてセキュリティエディタ画面を表示します。
6. セキュリティエディタ画面から SEC ファイル名の設定と PDF セキュリティ情報の設定を行い、SEC ファイルの作成を行います。

※セキュリティエディタ画面の [登録] ボタンをクリックすると、指定された SEC ファイル名で Create!Form 導入ディレクトリ直下の [sec] ディレクトリに SEC ファイルが作成されます。

図：セキュリティエディタ画面



7. セキュリティファイル選択画面に戻って、作成した SEC ファイルを選択し、QDF ファイルを保存します。
8. ジョブファイルに SEC ファイルの設定された QDF ファイルを指定してランタイムを実行します。

※ [default.qdf] へ SEC ファイルを設定した場合は、ランタイム実行時に QDF ファイルの指定をする必要はありません。

<< 注意 >>

UNIX 環境で使用する場合には、Windows 環境で作成した SEC ファイルを、Create! FormCast または Create! FormCollect の導入ディレクトリ直下の [sec] ディレクトリに ASCII テキストモードで転送してください。

1-2-3. 実行オプションでの設定

ランタイムの実行オプションに PDF セキュリティのコマンドオプションを直接指定する方法です。このコマンドオプションを使用してランタイムを実行することで、PDF セキュリティの付加された PDF ファイルの作成が行えます。

この方法は主に、ランタイム実行ジョブ単位で PDF セキュリティを付加する場合に使用します。

PDF セキュリティを付加するための実行オプションは以下の通りです。

■ パスワード

-Xm : マスタパスワード

-Xu : ユーザパスワード

※このオプションの直後に各パスワードを設定します。

(例) -XmMasterPass -XuUserPass

この場合、マスタパスワードは "MasterPass"、ユーザパスワードは "UserPass" となります。また、最大パスワード長は半角英数字 32 文字までとなります。

■ 暗号化レベル

-X40 : 40-bit セキュリティ

-X128 : 128-bit セキュリティ

■ 40-bit セキュリティオプション

-Xp : 印刷を許可しない

-Xd : 文書の変更を許可しない

-Xs : 内容のコピーや抽出を許可しない、アクセシビリティを無効にする

-Xa : 注釈とフォームフィールドの追加や変更を許可しない

■ 128-bit セキュリティオプション

-Xe : アクセシビリティを無効にする

-Xc : 内容のコピーと抽出を許可しない

-Xpa : 印刷 : 許可しない

-Xpl : 印刷 : 低解像度

-Xld : 許可 : 注釈作成、フォームフィールドの入力または署名

-Xlf : 許可 : フォームフィールドの入力または署名

-Xla : 許可 : 文書アセンブリのみ

-Xln : 許可 : なし

以上のオプションの組み合わせにより、PDF セキュリティ設定を行います。

<< 注意 >>

- ・ マスタパスワードは必ず設定してください。
- ・ 暗号化レベルを指定しない場合は、40-bit のセキュリティの設定になります。
- ・ 暗号化レベル (-X40, -X128) のオプションを同時に設定すると、最初に設定した暗号化レベルが有効になります。

- ・暗号化レベルにそぐわないセキュリティオプションは無視されます。
(例) -X40 -Xp -Xs -Xe -Xln : -Xe と -Xln は 128bit オプションのため無視されます。
- ・128-bit セキュリティオプションの「印刷」、「許可」のオプションはそれぞれ一つまでしか設定できません。複数同時に設定した場合は、最初に設定したオプションが有効になります。

1-3. セキュリティエディタリファレンス

セキュリティエディタは Design マネージャのジョブの編集や QDF エディタから呼び出され、PDF セキュリティ情報の設定と変更が行えます。

1-3-1. パスワードの指定

[ユーザパスワード]

文書を開くために必要なパスワードです。

[マスタパスワード]

PDF セキュリティ設定を変更するためのパスワードです。このパスワードは、PDF セキュリティを付加するときには、必ず設定する必要があります。このパスワードで PDF ファイルを開くと [権限] で設定されている制限は一時的に解除されます。

※ユーザパスワードと同じパスワードを設定することはできません。

PDF セキュリティの付加された PDF ファイルを開くと、Adobe Acrobat、Adobe Reader 上で使用できない機能やメニュー項目は淡色表示されます。

1-3-2. 暗号化レベル

■ 40-bit RC4 (Adobe Acrobat 3.0 以上または Adobe Reader 3.0 以上)

低いセキュリティレベルです。Adobe Acrobat 3.0 以上または Adobe Reader 3.0 以上で開くことができます。

[印刷を許可しない]

ファイルの印刷ができなくなります。

[文書の変更を許可しない]

フォームフィールドの作成やその他の変更ができなくなります。

[内容のコピーや抽出を許可しない、アクセシビリティを無効にする]

テキストとグラフィックのコピーができなくなり、アクセシビリティインターフェイスが無効になります。

[注釈とフォームフィールドの追加や変更を許可しない]

注釈とフォームフィールドの追加や変更ができなくなります。ただし、フィールドに入力することはできます。

■ 128-bit RC4 (Adobe Acrobat 5.0 以上または Adobe Reader 5.0 以上)

高いセキュリティレベルです。Adobe Acrobat 5.0 以上または Adobe Reader 5.0 以上で開くことができます。

[アクセシビリティを有効]

アクセシビリティ機能のサポートが必要な文書内容の使用が許可されます。

[内容のコピーと抽出を許可]

PDF 文書の内容がコピーできるようになります。このオプションは、PDF の内容に直接アクセスする必要のあるプラグインの動作に関連しています。

[変更を許可]

[なし]

PDF ファイルに対してどのような変更もできなくなります。署名、フォームフィールドへの入力もできなくなります。

[文書アセンブリのみ]

ユーザはページの挿入、削除、回転、しおり、サムネイルの作成を行うことができます。

[フォームフィールドの入力または署名のみ]

署名とフォームフィールドへの入力はできますが、これらを作成することはできません。

[注釈作成、フォームフィールドの入力または署名]

上記のオプションで許可された内容に加え、注釈の追加が行えます。

[編集、注釈及びフォームフィールドの作成]

内容の抽出と印刷以外のすべてのことを文書に対して行えます。

[印刷]

[許可しない]

文書を印刷することができなくなります。

[低解像度]

印刷はできますが、低い解像度でしか印刷できません。

[すべて許可]

すべての解像度で印刷でき、PostScript や高品質の印刷機能をサポートするプリンタへ高品質のベクトル出力を行うことができます。

[登録]

セキュリティの設定が反映されます。

[解除]

セキュリティの設定が解除されます。

2. ビューアプレファレンス

2-1. 概要

ビューアプレファレンスとは、PDF ファイルが Adobe Acrobat や Adobe Reader などの PDF ビューアで開かれた際に、PDF ビューアの表示方法を制御する機能です。PDF ファイルはこのビューアプレファレンス情報を個々の PDF ファイル内で持つことができ、PDF ファイルごとに PDF ビューアの表示方法の制御ができます。

Create!Form では実行コマンドラインにオプションをつけてランタイム実行することで、オプションに対応したビューアプレファレンス情報を PDF ファイルに埋め込むことができます。

Create!Form がサポートするビューアプレファレンス機能と実行オプションの一覧は以下の通りです。

ビューアの制御内容	オプション
メニューバーを非表示にする	-vum
ツールバーを非表示にする	-vut
ウィンドウコントロールを非表示にする	-vuw
ページにウィンドウサイズを合わせる	-vwf
ウィンドウを画面中央に表示する	-vwc
ページ表示順序を右から左に切り替える	-vpd

※「-vum」と「-vuw」を同時に指定した場合、PDF ファイルには両方の制御情報が書き込まれますが、Adobe Acrobat 8 以降、又は Adobe Reader 8 以降のビューアで開くと、ビューアの機能により必ずメニューバーが表示されます。

以下は、それぞれのビューアプレファレンス機能について説明します。

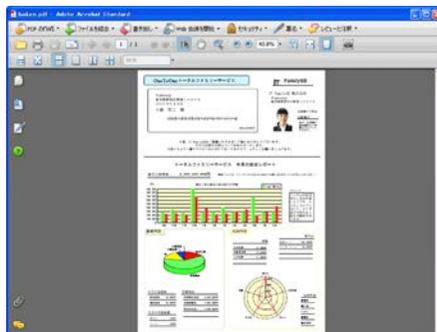
2-2. メニューバーを非表示にする

実行コマンドラインに“-vum” オプションをつけてランタイム実行することで、PDF ファイルが開かれた際に「メニューバーを非表示にする」というビューアプレファレンス情報を組み込んだ PDF ファイルの出力ができます。

例：実行コマンドライン

```
ccast -DC:¥CreateV10¥sample¥09_運用レポート -s103_hoken.sty -o103_hoken.pdf
-vum C:¥CreateV10¥sample¥09_運用レポート ¥103_hoken.csv
```

図：メニューバーを非表示にする



2-3. ツールバーを非表示にする

実行コマンドラインに“-vut”オプションをつけてランタイム実行することで、PDF ファイルが開かれた際に「ツールバーを非表示にする」というビューアプレファレンス情報を組み込んだ PDF ファイルの出力ができます。

例：実行コマンドライン

```
ccast -DC:%CreateV10¥sample¥09_運用レポート -s103_hoken.sty -o103_hoken.pdf  
-vut C:%CreateV10¥sample¥09_運用レポート ¥103_hoken.csv
```

図：ツールバーを非表示にする



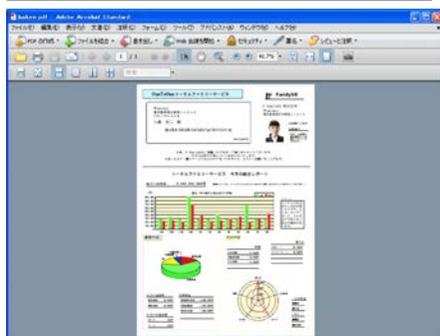
2-4. ウィンドウコントロールを非表示にする

実行コマンドラインに“-vuw”オプションをつけてランタイム実行することで、PDF ファイルが開かれた際に「スクロールバーやナビゲーションコントロールを非表示にする」というビューアプレファレンス情報を組み込んだ PDF ファイルの出力ができます。

例：実行コマンドライン

```
ccast -DC:%CreateV10¥sample¥09_運用レポート -s103_hoken.sty -o103_hoken.pdf  
-vuw C:%CreateV10¥sample¥09_運用レポート ¥103_hoken.csv
```

図：ウィンドウコントロールを非表示にする



2-5. ページにウィンドウサイズを合わせる

実行コマンドラインに“-vwf” オプションをつけてランタイム実行することで、PDF ファイルが開かれた際に「最初に表示されたページサイズに合わせて PDF ビューアのウィンドウサイズを変更する」というビューアプレファレンス情報を組み込んだ PDF ファイルの出力ができます。

2-6. ウィンドウを画面中央に表示する

実行コマンドラインに“-vwc” オプションをつけてランタイム実行することで、PDF ファイルが開かれた際に「PDF ビューアを画面の中央に配置する」というビューアプレファレンス情報を組み込んだ PDF ファイルの出力ができます。

2-7. ページの表示順序を右から左に切り替える

実行コマンドラインに“-vpd” オプションをつけてランタイム実行することで、PDF ファイルが開かれた際に「ページの表示順序を通常の左から右という向きから、右から左という向きに変更する」というビューアプレファレンス情報を組み込んだ PDF ファイルの出力ができます。この指定は、日本語の縦書きの文書を PDF ビューア上で横に並べて表示させたり、1 枚の紙に n ページ分を印刷する時にページの位置関係を指定するために使用することができます。

2-8. 複数のビューアプレファレンスを併用する

複数のビューアプレファレンス情報を PDF ファイルに埋め込みたい場合には、対応するオプションを実行コマンドライン内で複数指定します。

例：実行コマンドライン

```
ccast -DC:%CreateV10¥sample¥09_運用レポート -s103_hoken.sty -o103_hoken.pdf
-vum -vut -vwf C:%CreateV10¥sample¥09_運用レポート ¥103_hoken.csv
```

図：メニューバー、ツールバー、ページにウィンドウサイズを合わせる

